

最優秀賞

R1 チームは、デザインとアートの融合による要求工学の実践として、エンジニアのための感性強化方法の考案に取り組みました。

生成 AI が台頭し、人間の技術者の役割が見直されつつあります。人間の技術者には、問題発見力、共感力、突破力、探求心といった非認知能力が求められています。アート思考要求工学では、お客様が直面する問題に気づき共感するためには、技術者自身の感性が豊かであるべきであるとして、感性を強化するための取り組みを様々実施してまいりました。

R1 チームは、アート思考の考え方をベースに、技術者の感性を高めるにはどうすべきかという難しい課題に対して、まさに、あきらめずに、様々な方法を模索し、講義での「アート思考要求工学」を進化させた形で実践されました。具体的には、アート鑑賞や自然との対話から五感を刺激する、写真を撮りコレクションし自分軸を発見する、絵を描くことで言語化できない感情を知覚化する、立体作品で思考と感情による自分との対話を深めるなどの、感性を高める多くの活動を体験されました。

加えて、こうした体験を通して、常に自己研鑽を求められる多忙な技術者に向け、感性を高めてアイデア創出を加速できる行動変容を促す感性強化手法を考案し、複数の被験者で実験評価されました。このことは、技術者の非認知能力を高める新しい一歩であり、トップエスイー開発実践演習だからこそ成し遂げられた成果であります。

以上を評価して最優秀賞を与えることとします。

国立情報学研究所 GRACE センター長・特任教授

本位田真一